

子どもたちの電子メディアの利用実態に関するアンケート調査結果の概要

(小・中・高校生)

1 調査の概要

(1) 調査目的

テレビ、インターネット等の電子メディアと子どもたちとの関係を健全なものにするための取組の検討に必要な基礎資料を得ることを目的として、小・中・高校生の電子メディアの利用実態等について調査を実施した。

(2) 調査の実施主体

広島市

(3) 調査の概要

- ア 対象者 広島市内の市立の小学校4年生及び6年生(各4校 計8校を抽出)、中学校(8校を抽出)の3年生並びに高等学校(1校を抽出)の3年生 各300人程度
- イ 調査方法 各学校の協力を得て、クラスで配付し、クラスで回収した。また回答に当たっては匿名とし、回収に当たっては封筒を用いた。
- ウ 調査時期 平成16年9月～10月

エ 回収数

区 分	対象者数	回収数	回収率
小学校4年生	332	305	91.9%
小学校6年生	327	302	92.4%
中学校3年生	303	273	90.1%
高校3年生	316	303	95.9%
合 計	1,278	1,183	92.6%

(4) 主な調査項目

- ア テレビの視聴時間
- イ テレビゲームをする時間
- ウ インターネットをする時間
- エ 携帯電話の所持状況
- オ 携帯電話の利用金額
- カ 携帯電話の利用状況

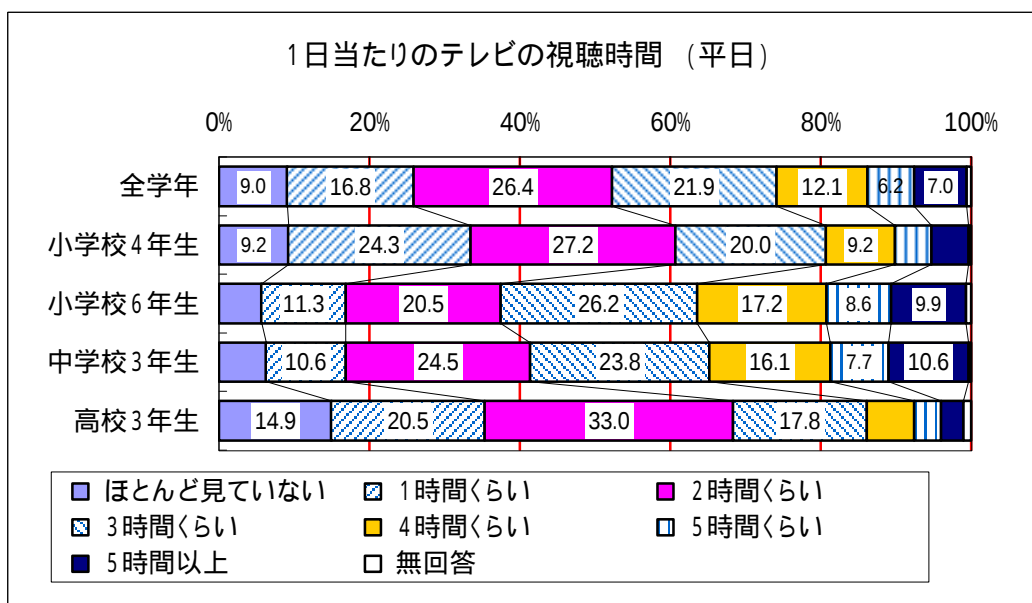
2 テレビ、テレビゲーム、インターネットの利用状況

(1) テレビの視聴時間

ア 平日

平日のテレビの視聴時間で最も多いのは、「2時間くらい」(26.4%)で、次に「3時間くらい」(21.9%)、「1時間くらい」(16.8%)の順になっている。

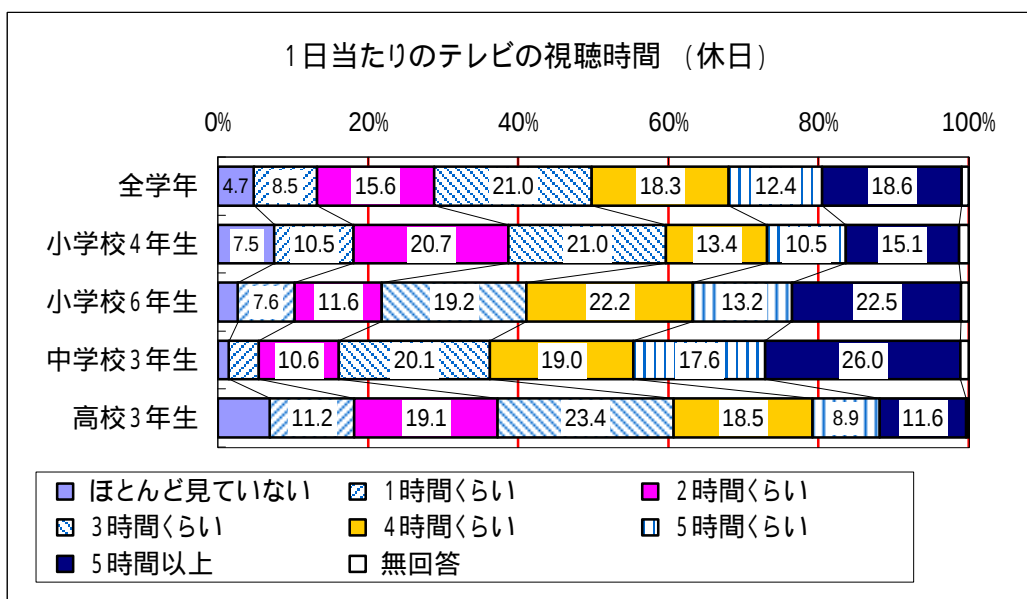
学年別にみると、小学校6年生で最も多いのが「3時間くらい」であるほかは、各学年とも「2時間くらい」が最も多い。また、小学校6年生、中学校3年生では「5時間以上」と回答した者が約10%いる。



イ 休日

休日のテレビの視聴時間で最も多いのは、「3時間くらい」(21.0%)で、次に「5時間以上」(18.6%)、「4時間くらい」(18.3%)と、平日に比べ、視聴時間が長い傾向となっている。

学年別にみると、小学校4年生と高校3年生では「3時間くらい」が最も多いが、小学校6年生、中学校3年生では「5時間以上」が最も多い。特に中学校3年生では他の学年と比べ、長時間化が目立ち、4時間程度かそれ以上見ていると回答した者が、約63%となっている。

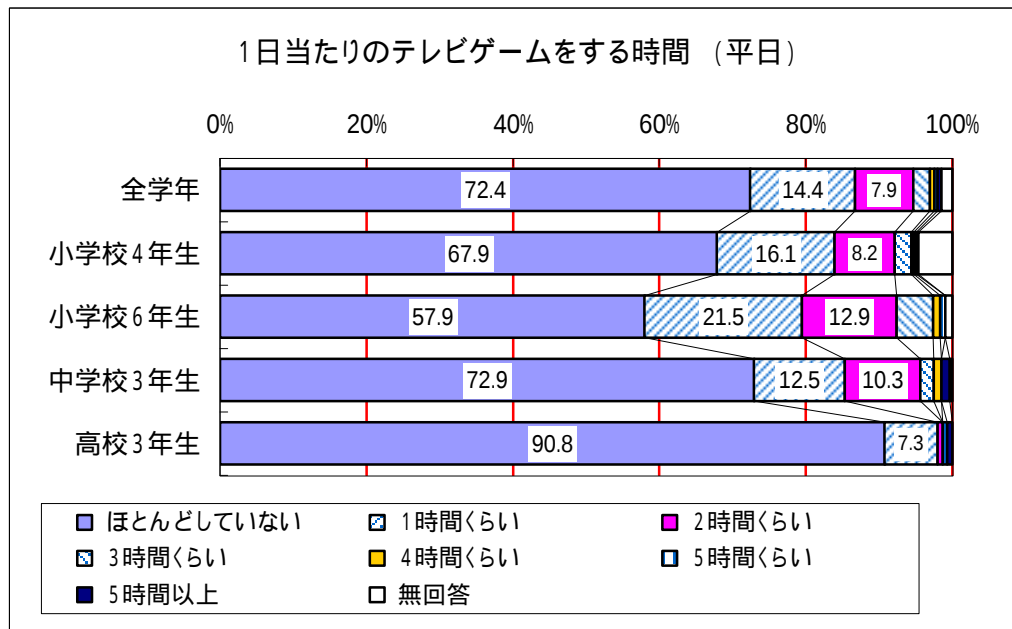


(2) テレビゲームをする時間

ア 平日

平日のテレビゲームを「ほとんどしていない」と回答した者が最も多くなっている(72.4%)。テレビゲームをすると回答した者で最も多かったのは「1時間くらい」(14.4%)となっている。

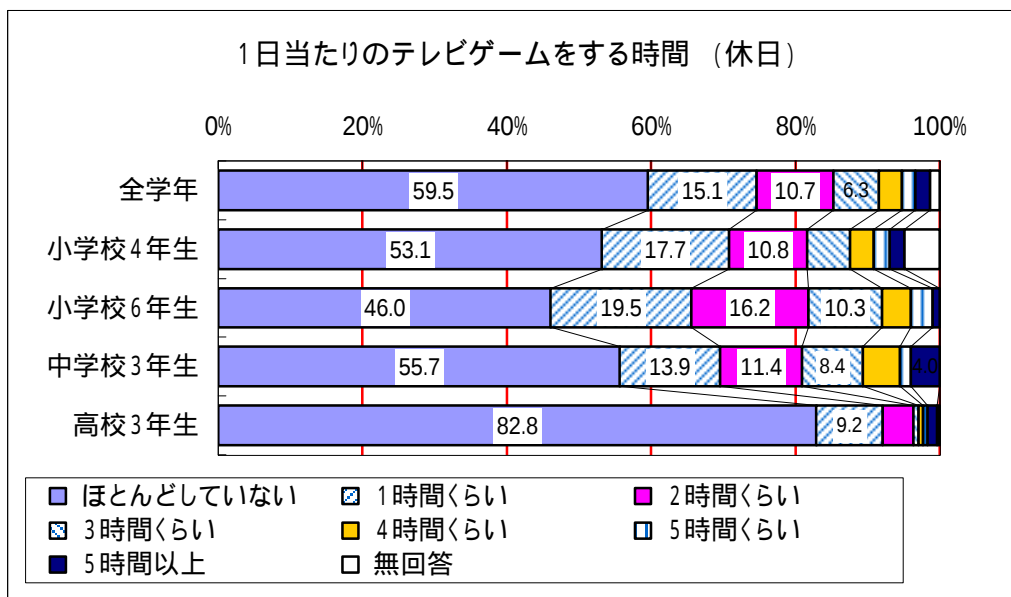
学年別にみても、「ほとんどしていない」が各学年とも最も多く、高校3年生では約91%となっている。また、テレビゲームをしていると回答した者の割合が最も高い学年は小学校6年生であり、約41%となっている。



イ 休日

休日のテレビゲームを「ほとんどしていない」と回答した者が最も多くなっている(59.5%)。テレビゲームをすると回答した者で最も多かったのは「1時間くらい」(15.1%)となっている。

学年別にみても、「ほとんどしていない」が各学年とも最も多いが、平日と比べいずれも少なくなっており、小学校6年生は半数以下(46.0%)となっている。また、テレビゲームをしていると回答した者の割合が最も高い学年は小学校6年生で、54%となっている。

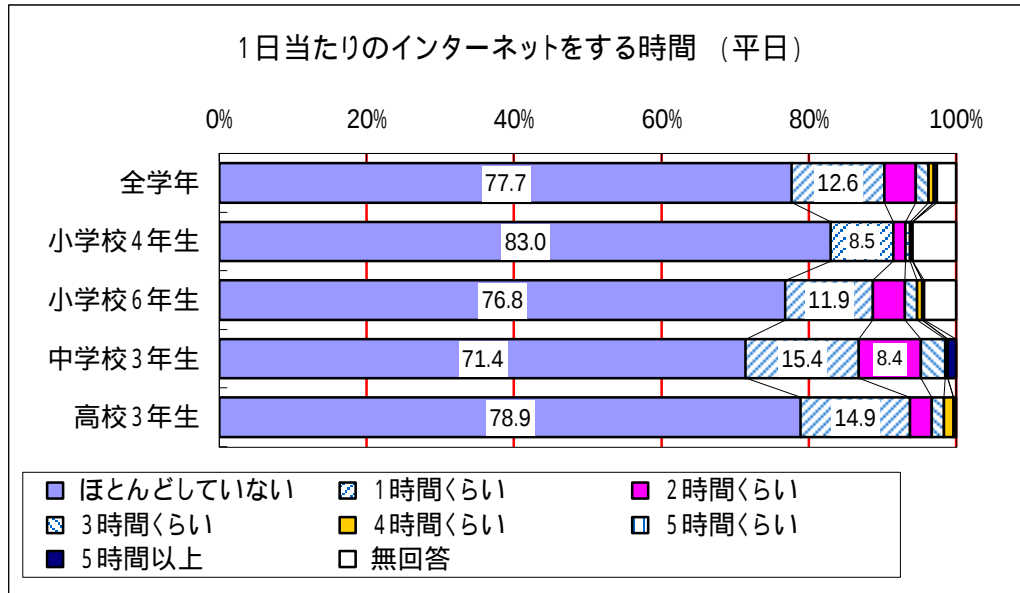


(3) インターネットをする時間

ア 平日

平日のインターネットの利用を「ほとんどしていない」と回答した者が最も多くなっている（77.7%）。インターネットをすると回答した者で最も多かったのは「1時間くらい」（12.6%）となっている。

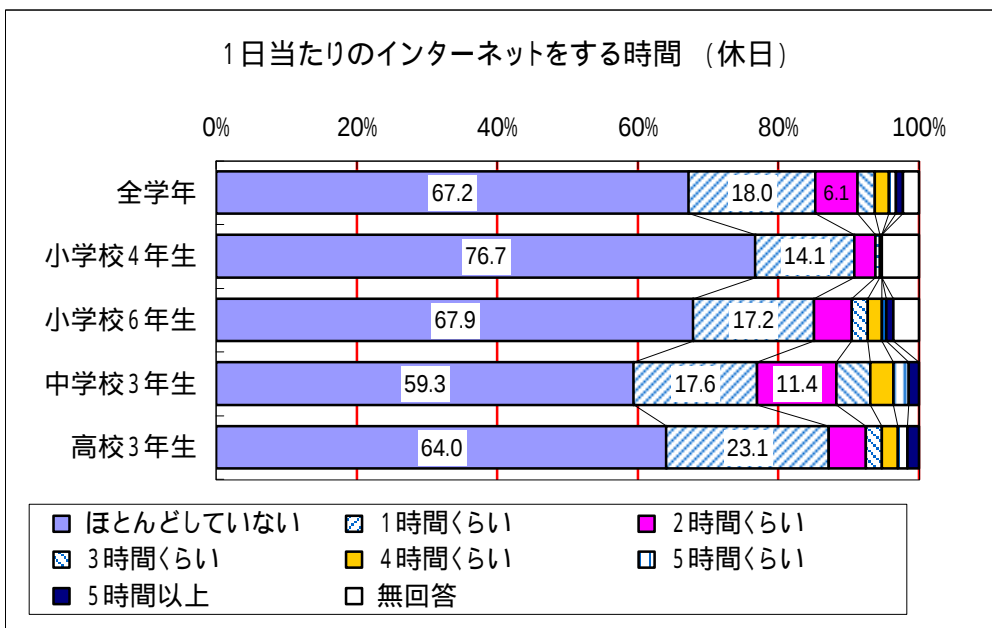
学年別にみても、「ほとんどしていない」が各学年とも最も多い。また、インターネットをすると回答した割合が最も高い学年は、中学校3年生で約29%である。



イ 休日

休日のインターネットの利用を「ほとんどしていない」と回答した者が最も多くなっている（67.2%）。インターネットをすると回答した者で最も多かったのは「1時間くらい」（18.0%）となっている。

学年別にみても、「ほとんどしていない」が各学年とも最も多い。また、インターネットをすると回答した割合が最も高い学年は、中学校3年生で約41%である。

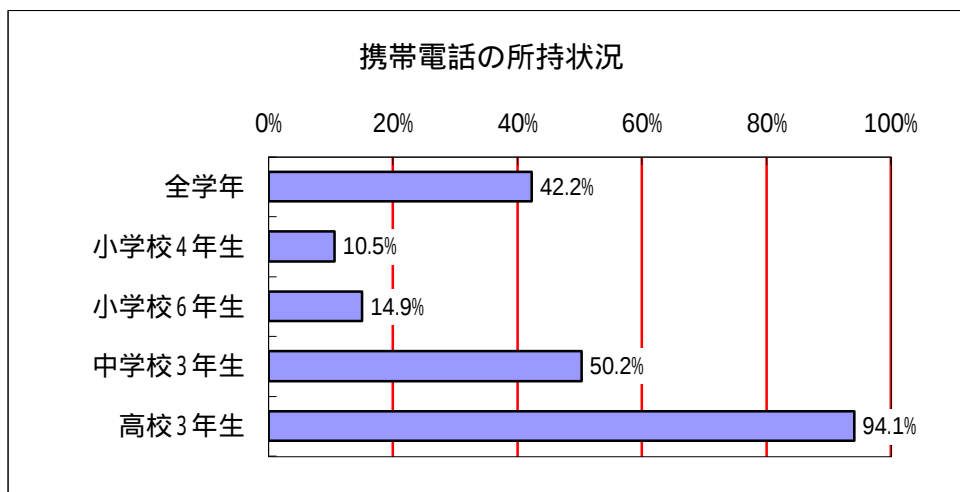


3 携帯電話の利用状況

(1) 携帯電話の所持状況

自分が使える携帯電話を42.2%の者が持っている。

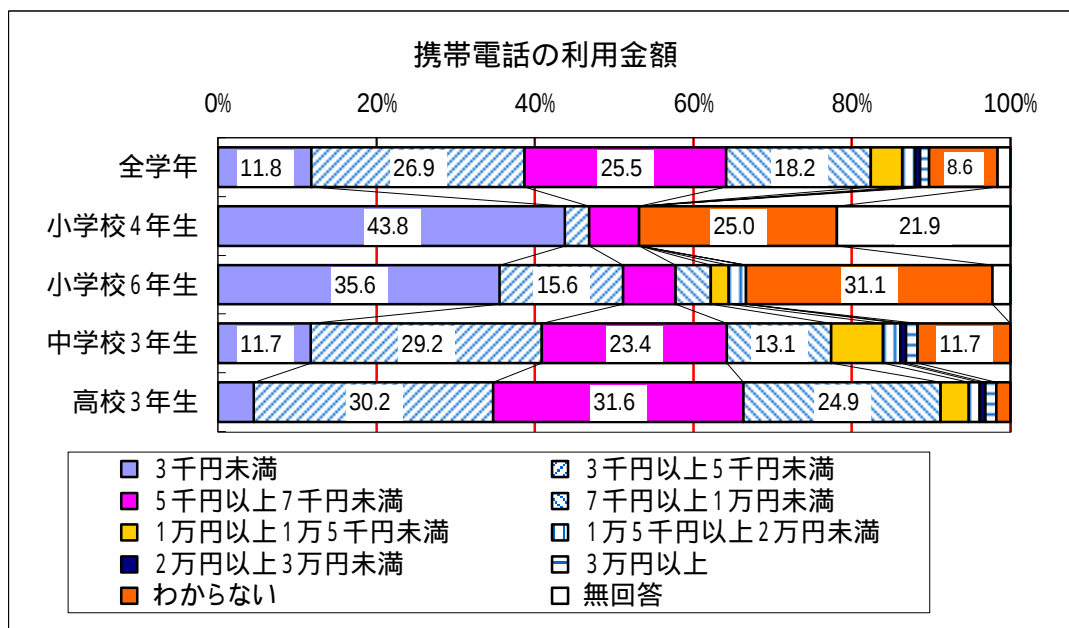
学年別では、小学校4年生(10.5%)、小学校6年生(14.9%)、中学校3年生(50.2%)、高校3年生(94.1%)となっている。



(2) 携帯電話の利用金額

携帯電話の利用金額は、「3千円以上5千円未満」が最も多く(26.9%)、次に「5千円以上7千円未満」(25.5%)、「7千円以上1万円未満」(18.2%)となっている。

学年別にみると、小学校4年生、6年生は「3千円未満」、中学校3年生は「3千円以上5千円未満」、高校3年生は「5千円以上7千円未満」が最も多い。



(3) 携帯電話の利用状況

携帯電話の最も多い利用は、「友達とメールのやりとりをする」(69.3%)であり、次いで「家族との連絡やおしゃべりをする」(57.1%)となっている。

学年別にみると、小学校4年生、6年生は「家族との連絡やおしゃべりをする」、中学校3年生と高校3年生は「友達とメールのやりとりをする」が最も多い。

